



お茶の縁でつむぐ心

Hisako Tanaka

伝えていきたいこと

私が伝えたいのは、かしまった礼儀作法ではなく、和の心。お茶をいただく人といれる人。互に相手を思い、気を配る。そういった体験を通して学ぶ、茶道が私の茶道です。一服のお茶を介した出会い、生まれた縁。この縁を大事につむぐこと、これこそ和の心ではないでしょうか。

町と人が結ばれる

桂川町は、みんなが明るくオープンな町だと感じますね。とにかく温かい心をもった人が多い。だから、この先故郷を離れることになつたとしても、「故郷に帰ったらあのの人に会ってみるか!」と、町と人が結ばれている、そんな桂川町であって欲しいですね。



茶道家 田中 壽子

原点は、家族が安心して食べれるもの

Takao Furuno

有機農業への挑戦

農業をする際、有機農業という方向性は決めていたんです。もちろん辛苦はあったけれど、平坦じゃないから面白いんです。いいことばかりじゃダメ。人生がドラマならば、盛り上げるために谷も必要なんです。今があるのは、「絶対に有機農法だ!」という情熱の賜ですね。

自然情報が溢れる町

世の中には、自然情報と人工情報があります。人工情報は、テレビ・雑誌などがそう。自然情報は、自分の目で見て触って体験するもの。今は、自然情報と人工情報のバランスが悪い。最先端技術っていうのは自然情報。自然そのものが今を教えてくれるんですよ。